

利用実証計画書

平成22年10月29日 Ver.1

テーマ	車両用途(カーナビ)応用における効果確認に関する実証	
実施機関	株式会社デンソー	
目的	位置精度・初期捕捉時間向上効果による、カーナビの商品性向上の確認	
内容	QZS 補強信号を利用する受信機、利用しない受信機の2台を車両に設置し、都市部での精度・測位率および、立体駐車場出庫時の初期捕捉時間を計測、比較し、QZSS に対応することでユーザ利便性向上につながる効果を、実験により定量的に確認する。精度の検証には、車両に設置されRTK-GPS+IMUを備えたリファレンス装置を用いる。	
期間	全体	H22. 12. 1 ~ H23. 6. 30
	時間・頻度	9:00 ~ 19:00(希望)、3カ月程度(2週間 x6回)
構成	<p>右図に示すように、車両に L1SAIF 受信機 2 台を搭載し、1 台を補強データを利用、もう 1 台を補強データを利用しないように設定し、測位結果を内部のメモリに記録する。あわせて、GPS+IMU で構成されるリファレンス装置にて、精度検証の正解データを取得する。その後、下図に示すように、後処理にて取得した測位結果の比較を行う。</p>	
システム要求	受信信号	QZS-L1SAIF、GPS-L1CA
	受信設備	メモ리카ード型測位受信機(2台)、ソフトウェア
	受信場所	愛知県、東京都を予定、ビル街
	事前準備	実験計画の提供、貸与品の事前提供(ソフト開発・事前検証のため)
	実証時	QZSS ステータス(ヘルス)情報のリアルタイム提供(WEB 等)
	事後処理	無し
	その他	無し
特記事項	無し	